OKAYA ROTARY CLUB WEEKLY

No.2974

Rotary OKAYA
岡谷ロータリークラブ

■ 会長／林広一郎
■ 副会長／小口裕司・宮坂晃介
■ 幹事／北澤洋之介
■ R 情報(会報)委員長／吉村栄二

■ 事務所／岡谷市中央町 1-4-1・Tel/0266-22-6939・Fax/0266-23-6939
URL:okayarc.org・Email:okayarc@ bz04.plala.or.jp
■ 例　会／毎週火曜日 PM12:30 太田屋メモリー

第 2996 回例会 2023 年（令和 5 年）5 月 30 日(火)

点　　鐘：林　広一郎　　司　　会：山崎典夫
斉　　唱：我等の生業
ラッキーNo：NO. 2　北澤洋之介
結　婚　祝：濵　俊弘、中嶋孝一、片倉克昭、小口　功

会 長 挨 拶

　皆さん、こんにちは！本日のお客様をご紹介いたします。
つつじが丘学園 園長　川瀬勝敏様です。
本日は助成金贈呈式が予定されています。また、卓話もお願いしています。
よろしくお願いいたします。
今から 50 年程前のことになりますが、私は 1972 年（昭和 47 年）3 月に岡谷小学校（山手町 2 - 1 - 1、2016 年 3 月末閉校）を卒業し、4 月から 3 年間、岡谷西部中学校に通いました。川岸方面に通学するようになり、初めて「つつじが丘学園」の存在を知りました。そして 3 年間、クラスメイトとして学園から通う男子 1 名、女子 1 名と過ごしました。
それぞれ家庭のご事情があり、ご本人たちは子供ながらに いろいろ気持ちを抱えていたことと思います。それでもお二人は、素直で元気だったこともあり、クラスの一員として自然と溶け込んでいたことが、印象に残っています。
それを支えていたのは、川岸小学校から一緒だった同級生の存在や、担任教師の配慮があったのかもしれません。
それにもまして、大人の事情によりしんどい思いをしている 子供たちの日常生活における「居場所」として、その役割を担われている「つつじが丘学園」の存在は、本当に大きいもであったと 今更ながらに思う次第であります。
5 月は「青少年奉仕月間」です。毎年、この時期に川瀬園長先生より今の子供たちの様子をお聞きしています。これからも岡谷ロータリークラブ会員として 私たちは何ができるのか、本日は認識を新たにする機会になればと思っています。
以上、本日の会長挨拶といたします。よろしくお願いいたします。

幹 事 報 告

・次週６月６日は、松本山雅社長 神田様による卓話です。

卓話「つつじが丘学園未来構想について」

つつじが丘学園園長　川瀬勝敏 様

みなさん、こんにちは。
先ほどは過分なる助成金をいただき、誠にありがとうございます。社会福祉法人つるみね福祉会は、昭和 26 年 4 月設立以来 70 年以上諏訪地域、とりわけ地元岡谷市の皆様からご支援いただいている事改めまして感謝申し上げます。ありがとうございます。

林会長からも川岸小での子供たちとの出会いに触れていただきましたが、戦後の戦災孤児から現在の児童虐待に至るまで、保護が必要な子供たち、支援が必要な家族、止むにに止まれぬ事情で県外から来た子供、幾許もなく路頭に迷い警察に保護されて来た子供、自分の命は自分で守らなければと家を出て自分で歩いて施設に来た子も過去にはありました。子供たちにとって最後の砦であるつつじが丘学園は、このような事が 70 年来変わることなく今も続いている現状があります。

今現在、つつじが丘学園は定員 47 名に対し 44 名の子供たちが生活しています。コロナの中約 3 年間暮らしましたが、職員も子供も感染し、職員も代わることができず陽性者が陽性者を支援する中で命を繋ぎ危機的状況を我々職員も乗り越えてきて今日があるわけです。そのようなウイルスまた自然災害、地域社会においてもコロナ後も健全な育成というものを考えていかなければいけないと思います。

今この国は、家庭で生活できない子供たちに、親に代わって施設ではなく里親を増やしていきましょうという活動をしています。しかし重い障害や発達の遅れ等を抱えた子供は施設での生活を続けます。母親も育てる力がなく、人を頼る力すらない、子供が子供を産み、子供が子供を育てるという現代社会ならではのケースも増えてきています。そうなると子供だけ保護すればいいという訳でなく家族全体を支援していかないと子供に幸せは作れない事になるわけです。

つつじが丘学園 44 名のうち 19 名が高校生です。児童福祉法の改正により児童養護施設で生活する子供の年齢が撤回されました。就職が見つからなかったり障害があったりする子は年齢に関係なく施設で生活できるわけですが、現実はは難しい問題です。今いる子供たちや緊急な場合に備えることを考えると、総合的な施設の受け皿が重要になってきます。「こども基本法」や「こども家庭庁」など、言葉はすごくいいのですが、それにより色々な問題が出てきて、どこが守ってあげるのか、どこがその先の支援を担ってあげるのか・・県や岡谷市も精いっぱいなので、そこの受け皿とそこから自立させてあげる事が大事になってきます。何十年も前からここにあり続けていますが中々子供の数が減らないですし、中高生になってから入ってくるので職員との信頼関係が作りにくいんです。それまでの作られてきた「自分」があり、今までダメだ！できない！やめろ！と否定され言われ続けてきた子供が多いのです。じゃあその子たちがつつじが丘学園に来たから明日から頑張れるというものでもないのです。応援されたり受け入れてもらったことのない子供たちをどう

支援していくかが大事なんです。
　現在つつじが丘学園の高校生の殆どは通信制の学校に通っていて、その子供たちの日中の支援先として、地元地域の様々な企業の方に協力いただき、子供たちが社会体験をする前にそこで仕事をするという体験を受け入れていただいています。ハローワークですと、最低賃金がありきちんと雇用契約を結ぶ事が基本ですが、そこまでたどり着かない子供たちは、今までは療育手帳を取り障がい施設に入るか生活保護を受けていました。つまり税金で生活していたわけですが、体験を共有する事により企業も人材難を改善できる事も今後期待できると思います。
　未だに根強い子供は親が育てるべきという社会の風潮、確かにそれが前提ではありますが、今は子ども基本法の理念として、社会が子供を育てる、子供の意見を聞いて対応していくとなっています。そのような社会を作っていくためにも、つつじが丘学園の活動を、是非皆様からも後押ししていただけたらと思います。
　岡谷ロータリークラブの皆様は、長きにわたりつつじが丘学園と連係する中で、子供たちの為に何をしたらいいかという「子ども真ん中社会」を、特に岡谷市は長野県の中でも先陣を切って取り組んできていただいています。そのような事を私も各地域でお話しています。
　今また時代が変わりましたが、子供たちの為に皆様と一緒に手を携えながら未来の子供たちを育てていきたいと思います。家族の問題では経済対策でも同じだと思っています。お金も大事ですが、元々ある優しさという貯金を皆様からお借りしながら子供たちに投資していただければ、子供たちは必ず返します。これは私の仕事の経験上感じている事です。どうしても変われない子供の中にはいますが、変われる子供が多いです。そのような事は諦めてはいけないし、すぐに結果を求めてもいけない、子育てで色々学ぶことはありますが、諦めなければ子供たちは花を咲かせてくれます。常に感じている事です。
　つつじが丘学園は川岸の地区にありますが、川岸小学校と西部中学校の統合の問題があり、「川岸学園構想」というのが出ていたので、つつじが丘学園も入れてもらえて、もっといい施設が近くにできるのかと教育長に直接お話しに行きました。是非、小中学園と共に、そこに生活支援できる場所のつつじが丘学園も一緒にやりませんか！やるのであれば岡谷西地区の辰野町や塩尻市ももしかしたら入ってくるかもしれない、岡谷市が協力することで家族や子供たちがもっともっと幸せになるんじゃないか、単なる人口の足し算引き算ではなくストーリーを入れませんか！とお願いをしてきました。子ども真ん中社会を実現した岡谷市だからこそ、この川岸学園構想の中につつじが丘学園、保育園を入れる事に、例がないではなく、例がないからこそやってみませんかと、そういう街づくりをして、そこに優秀な人材、或いはそこで生活する子供たちが地域に貢献していくという事を一緒に取り組んでいきたいと思いますし、今のつつじが丘学園、これからのつつじが丘学園もその思いは私自身強く思っております。
　そんな思いをこれからも、施設の職員、生活を余儀なくされる子供たちに愛情を持って向かい合いながら、幸せづくりに邁進していきますので、今後共つつじが丘学園、つるみね福祉会の児童についても、様々なところでお支えいただきますようお願い申し上げまして、お礼の言葉とさせていただきます。
本日は、ありがとうございました。

＊助成金贈呈式＊

〇林広一郎会長

〇川瀬勝敏つつじが丘学園園長

〇中嶋孝一青少年奉仕委員長

ニコニコボックス

今井康善・梅垣和彦・大滝祐吉・大橋正明・小口　功・小口　隆・小口智之・小口裕司・笠原新太郎・片倉克昭・北澤洋之介・小宮山英利・薩摩　建・杉村邦彦・瀬戸雅三・髙木克彦・竹村一幸・中嶋孝一・中村文明・西澤　賢・林広一郎・林　裕彦・平沢清文・宮坂　伸・宮坂宥洪・宮澤由己・矢島　貴・矢島　実・矢島雄一・山岡俊幸・山岸邦太郎・山崎典夫

つつじが丘学園園長　川瀬勝敏様、本日はよろしくお願いいたします。

出 席 報 告

会員数５０名、出席者３３名、出席率６６．０　％

2022-2023 年度　RIテーマ

Rotary　IMAGINE ROTARY　IMAGINE ROTARY